

報道機関各位

令和7年（1月～12月）における災害統計の速報値について

令和7年（1月～12月）における災害統計を取りまとめたので、お知らせします。

1 火災 【火災件数は229件で、死者は北九州市発足以降、最少】



令和7年中の火災件数は229件で、前年と比較して9件（4.1%）増加しました。このうち住宅火災は85件で、前年より1件（1.2%）増加しています。

火災による死者数は5人で、前年より12人減少し、平成30年と並び北九州市発足以降、最少の人数となっています。このうち住宅火災による死者数（放火自殺者を除く。）は統計を取り始めた平成5年以降、最少の2人で、前年より12人減少しています。また、火災による死者のうち4人（80.0%）が65歳以上の高齢者となっています。

《出火原因の1位は「こんろ」、続いて「たばこ」》

| 順位 | 原因 | 件数（割合） |
|----|----------|------------|
| 1 | こんろ | 29件（12.7%） |
| 2 | たばこ | 28件（12.2%） |
| 3 | 放火・放火の疑い | 26件（11.4%） |
| 4 | 電気機器 | 17件（7.4%） |
| 〃 | たき火・火入れ | 17件（7.4%） |



2 救急 【救急出動件数は63,958件で、過去2番目に多い】



令和7年中の救急出動件数は63,958件で、前年と比較して905件（1.4%）減少しました。これは、過去2番目に多い件数であり、1日あたり約175件、約8.2分に1回、救急車が出動したことになります。また、医療機関へ救急搬送された患者のうち、入院の必要がない軽症患者は40%でした。

消防隊が救急現場に出動する「あかきゅう出動」は5,944件で、前年と比較して123件（2.0%）減少しました。



3 救助 【救助出動件数は558件で、出動件数、救助人員ともに増加】



令和7年中の救助出動件数は558件で、前年と比較して56件（11.2%）増加しました。

出動件数（558件）の事故種別は、1位「建物等による事故」253件（45.3%）、2位「火災」96件（17.2%）、3位「交通事故」78件（14.0%）となっています。

北九州市において出動件数、救助人員ともに最も増加した事故種別は「建物等による事故」（出動件数昨年比17.7%増）です。その要因は、「建物等による事故」のうち、単身世帯又は同居家族が外出中の住宅において、施錠された状態から、急病人を救出する事案が増加したためです。



【問い合わせ先】

（火災）

予防課長 澤田
火災調査係長 平井
TEL 093-582-3836

（救急）

救急課長 吉木
救急係長 景山
TEL 093-582-3820

（救助）

警防課長 森
救助係長 友田
TEL：093-582-3817